

石油開発事業 OIL EXPLORATION AND PRODUCTION BUSINESS



コスモエネルギー開発株式会社
代表取締役社長
西 克司

半世紀にわたる原油開発の実績に加え、
中東産油国との信頼関係を基盤とし、
事業の拡大に取り組みます。

事業概要

石油開発事業は、グループ事業ポートフォリオの中でも収益の柱であり、長年信頼関係を築いてきたアラブ首長国連邦(UAE) アブダビ首長国やカタール国を中心とする中東地域をコアエリアとして、既存権益鉱区での安全・安定操業を進めています。

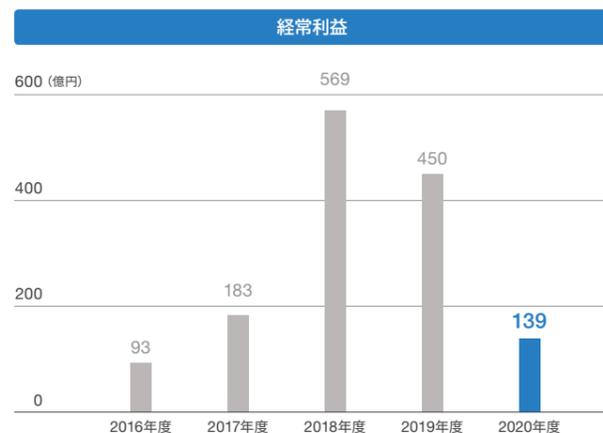
2020年度実績・2021年度見通しについて

2020年度は新型コロナウイルス感染症を起因とする原油価格下落の影響(2020年1月～12月におけるドバイ原油価格42\$/バレル・前年比-22\$/バレル)により、経常利益は139億円(前年比-311億円)となりました。

2021年度は引き続き安全・安定操業を継続するとともに、原油価格の改善による影響(2021年1月～12月におけるドバイ原油価格前提60\$/バレル・前年比+18\$/バレル)により、経常利益は330億円(前年比+191億円)を見込んでいます。

経常利益

2020年度実績	139億円 (前年比 -311億円)
2021年度見通し	330億円 (前年比 +191億円)



※生産数量は主要開発会社であるアブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発の合計



識別したリスク

- 脱化石燃料に伴う座礁資産化リスク
- 原油価格ならびに生産に関するリスク
- 探鉱・開発に関するリスク
- 油田や生産設備の事故リスク



機会

- 脱炭素化への移行期間におけるエネルギー安定供給の実現
- 産油国の発展に伴う事業機会の拡大
- CCS・CCUSの技術開発、事業環境整備への期待



強み

- 新鉱区Offshore Block4の獲得
- 50年にわたる産油国との信頼関係
- 競争力の高い油田を保有
- 既存油田の操業やヘイル油田開発で培った技術



新型コロナウイルス感染症の影響と対応

- 影響**
- 操業現場、鉱業所での感染防止策の必要性
 - 原油価格下落に伴う収入減
- 対応**
- 在宅勤務体制の整備と実行
 - 低価格でも収益を確保すべくコスト見直しの実施

事業戦略

石油開発事業では、世界的な需要と供給の動向や産油国および周辺地域における政情不安による原油価格の変動、新たに落札した探鉱鉱区において商業生産が可能な規模の資源が発見できない可能性、長期的なトレンドとして脱化石燃料へ移行することによる油田(保有資産)の座礁リスク、操業に伴う油田や生産設備における事故のリスクを認識しています。

一方、事業環境における機会としては、脱炭素化への移行期間におけるエネルギー安定供給の必要性、産油国のさらなる経済発展、持続可能な社会の実現に向けたCCS・CCUS等の脱炭素化技術の開発や事業環境整備の進展を想定しています。

当社グループの強みとして、UAE建国以前から50年以上に

わたり、アブダビ首長国と親密な信頼関係を維持しています。当社グループはアブダビ首長国をはじめとする産油国において自社操業(オペレーターシップ)を行っており、長年にわたり培った技術力を活かし、安定した海上油田生産を行っています。2021年には海上の新鉱区であるOffshore Block4を取得しました。新鉱区は当社グループ会社であるアブダビ石油が保有する油田に隣接しており、生産・貯蔵・出荷施設を共同で活用することでエネルギー供給の効率化を含めたシナジー創出が見込まれます。新鉱区を含め当社グループが保有している油田は浅海に位置していることから、コストを抑えることが可能となり競争力を有しています。

競争優位性 1 新鉱区Offshore Block4の獲得

当社グループのコスモエネルギー開発はアブダビ国営石油会社がアラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国にて実施した探鉱鉱区入札ラウンドに参加し、海上の探鉱鉱区であるOffshore Block4を取得しました。当社グループは本鉱区の取得にあたり、プロジェクト会社であるCosmo E&P Albahriya Limitedを設立し、アブダビ国営石油会社ならびにアブダビ最高財務経済評議会と探鉱利権協定を締結しました。

石油開発部門では第6次連結中期経営計画において「強みを活かす付加価値が得られる案件を志向」し、長期的視点から事業戦略を検討してきました。このたび当社グループは長期的事業戦略に基づき新鉱区を落札しましたが、アブダビ首長国で築き上げてきた強固な信頼関係や長年の操業実績などが評価されたものと考えています。

本鉱区は当社グループのアブダビ石油が保有する油田に

隣接しており、開発・生産に至る場合は生産・貯蔵・出荷施設を共同利用することで開発・生産コストを最小化し、石油開発部門全体のシナジーを最大化しうると見込んでいます。

社会全体では脱炭素化やカーボンニュートラルへの移行が加速し、長期的に見ると石油需要は減少すると見られていますが、今後も暫く残存する一定程度の石油需要に応える安定供給の使命、エネルギーセキュリティの観点からも石油開発事業が当社グループにとって重要な事業であることには変わりはありません。高い競争力を持つ本鉱区での事業を通じて効率的な石油エネルギーの供給および競争力の維持・強化を図り、引き続き当社グループの収益に貢献していくとともに、将来の持続可能な社会の実現に向けてCCS、CCUSなどの脱炭素社会に求められる技術開発と適用についても検討していきます。



当鉱区の特徴

基本情報

● 本鉱区は、アブダビ首長国北部に位置し、面積は4,865平方キロメートルです。

● 本鉱区は、豊富な石油・天然ガスの資源量が賦存し、開発・生産コストが他の地域と比べて低いとされるアラビア湾の浅海に位置します。

● 本鉱区はコスモエネルギー開発の子会社であるアブダビ石油が保有するムバラス油田に隣接しており、商業生産可能な原油・ガスが発見され、開発・生産に至る場合には、アブダビ石油の生産・貯蔵・出荷施設を活用し、Cosmo E&P Albahriya Limitedの開発・生産コストの大幅な低減とアブダビ石油の操業効率改善を実現できるものと見込んでいます。

競争力

石油開発ビジネスの流れと探鉱活動の位置づけ 石油開発事業の流れは大きく4段階に分類される。



競争優位性 2 アブダビ首長国との強固な信頼関係

当社グループのアブダビ石油とアラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国との関係は、UAE建国以前の1967年までさかのぼり、今日まで50年以上にわたる強固な信頼関係を築いています。

当社グループは半世紀以上にわたりアブダビ首長国において、アブダビ国営石油会社と協働し、安全で安定的な原油開発を実施してきました。このような操業実績に加え、環境施策や現地地域社会への貢献策など、原油開発分野に留まらない多層的な関係を構築し、アブダビ首長国ならびにアブダビ国営石油会社から信頼できるパートナーとして評価されています。このようなアブダビ首長国との強固な信頼関係が、今般の新鉱区Offshore Block4において、当社グループが選ばれた理由の一つになっているものと考えています。これからもアブダビ首長国にとって当社グループが友好的かつ信頼されるパートナーであり続けるよう努力していきます。



競争優位性 3 競争力の高い油田での自社操業

当社グループが石油開発・生産を行っているエリアは、浅海に位置する在来型油田となっており、大水深油田やシェールオイルに代表される非在来型油田と比較して、開発・生産コストが低く、競争力が優れています。このため当社グループの石油開発部門は、かつてドバイ原油価格が30\$/バレル台まで急落した2016年においても、経常利益は黒字を確保しています。

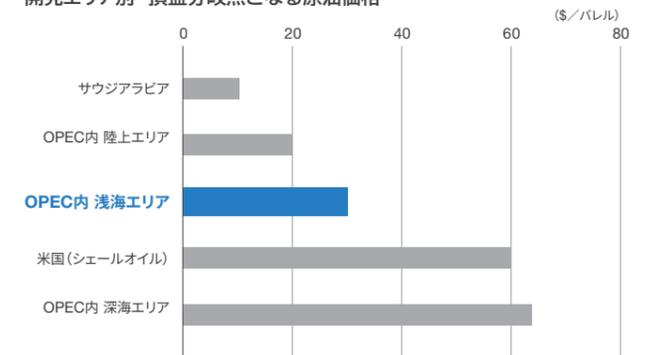
また、当社グループは産油国において、オペレーター(※操業を自社で行う会社)として石油開発と生産を行っており、油田操業に関する技術やノウハウ、経験を蓄積しています。原油生産において、自噴による生産では油層内にある原油の20%程度しか回収できず、原油回収率を最大化するためには、油田特性に適合した原油回収法を導入する必要があります。当社グループでは油田の特性に合わせ、油層圧力維持を目的にガスを圧入するガス圧入法、水を圧入する水攻法などの回収法を利用して、原油回収率ならびに生産の最大化を図っています。

また当社グループはHSE※活動全般に積極的に取り組んでい

ます。アブダビ石油では従業員のキャリアに応じたHSE教育および訓練計画の策定、緊急時対応訓練実施などの多岐にわたる活動を通じて労働安全衛生や環境問題のリスクに対処しています。

※ HSE (Health/Safety & Environment) : 事業活動に伴う労働安全衛生問題や環境問題を示す言葉であり、これらの問題に系統的かつ効率的に対処してリスクをできる限り低減し、企業価値を高める取り組みがHSE活動です

開発エリア別・損益分岐点となる原油価格



※外部調査機関の資料に基づき作成。生産コストは油田毎に異なる